



LAZONA^{ラゾーナ} 藤尾歴史散歩

藤尾学区まちづくり協議会設立準備委員会 歴史文化部会



第2回 追分の道標

大津市と京都市の境界にある旧東海道のこの道標の正面には、「みぎハ京みち」左側面には「ひだりハふしみみち」右側面には「柳緑花紅」と刻まれています。現在地に立つ道標は三代目で、初代は滋賀県立琵琶湖文化館に収蔵され、滋賀県警察本部が湖岸に移転して建設されるまでは湖岸側緑地に屋外展示されていました。（二代目は交通事故で損傷）



●現在の旧東海道 追分の道標（現追分町）

みぎハ京みち
ひだりハふしみみち



●大津追分「伊勢参宮名所図会」（現追分町）
大津市歴史博物館所蔵

題字の「柳緑花紅」は、蘇東坡の禪に関する詩文・逸話、問答を収録した『東坡禪喜集』から採ったもので、「柳は緑で当たり前だし、花が紅いのも当然のこと。人はそれぞれ、くよくよせずにあるがままに生きよ」という意味です。

この言葉は法話の題材によくとりあげられます。日本の高僧たちも、「見るほどにみなそのままの姿かな 柳は緑 花は紅」（一休禅師）や「色即是空 空即是色 柳は緑 花は紅 水の面に夜な夜な月は通へども 心もとどめず 影も残さず」（沢庵禅師）などと遺しています
（文・松井佐彦）

